



ふねあいのひろば

第41号



子ども海外派遣事業 派遣報告会

ごあいさつ

会員の皆様におかれましては、平素より当協議会の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨今の世界情勢は、ウクライナ侵攻や緊迫する中東情勢など地政学的リスクの高まりにより、将来見通しの不確実性や不透明性が一層増しています。こうした時代だからこそ、異なる文化的背景を持つ市民同士が固い友情で結ばれる草の根の交流の重要性を、改めて感じています。

国内に目を向けると、少子高齢化が進む日本においては、在留外国人は年々増加し、各地で産業を支える人材として、地域社会の担い手として必要不可欠な存在となっています。

岡山市におきましても、外国人市民の数は、令和7年12月末現在で1万7千人を超え、過去最高となっています。今後も外国人材の受入が進むことで、国籍や民族が多様化し、岡山市に住む外国人の数は増加することが見込まれています。

そのため、国籍、民族等の異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、外国人と日本人が同じコミュニティの一員としてともに支え合い、誰もが暮らしやすく活躍できる多文化共生のまちづくりを進めることが重要です。

こうした中、外国人市民が地域での生活に必要な日本語を習得できる機会を提供するため、福浜公民館及び万富公民館で岡山市日本語教室を開催し、楽しく日本語を学びながら、地域の方々と相互理解を深めることができるよう、取り組んでいるところです。

国際交流事業では、昨年は「子ども海外派遣事業」を実施し、市内の中学生を岡山市の国際友好交流都市・地域に派遣しました。子どもたちは、ホームステイや交流プログラムを通じて、現地の人々との交流を深め、海外の文化や価値観への理解を育む貴重な経験を得ることができました。

今年は、友好交流都市から子どもたちを迎えてのホームステイ事業や、友好交流都市への訪問団派遣など、様々な交流事業を予定しております。

当協議会の活動を通じて相互理解と友好親善をさらに深めてまいりますので、今後とも皆様方より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



会長 松田 久

洛陽市

●岡山市公式訪問団の派遣（4月22日～25日）

岡山市公式訪問団（団長：中原健一副市長）及び岡山市民訪問団など総勢22名が第42回中国洛陽牡丹文節に参加するため、洛陽市を訪問しました。陳劍鋒（ちん・けんほう）副市長を表敬訪問し、2026年に迎える友好都市締結45周年事業について意見交換を行いました。また、洛陽市外国語初級中学での視察交流や中国国花園にて満開の牡丹を堪能しました。



副市長表敬



中国国花園視察



洛陽市外国語初級中学

富川市

●岡山市民友好親善訪問団の派遣（7月1日～4日）

「富川国際ファンタスティック映画祭」への招聘を受け、岡山市民友好親善訪問団及び岡山市・富川市友好都市議員連盟訪問団の総勢39名が富川市を訪問しました。訪韓団は、友好交流協定締結20周年を記念して製作された「友好の碑」の見学をはじめ、韓国漫画博物館や富川韓屋村などの見学を行いました。また、富川市主催の歓迎夕食会では富川市民の皆さんと交流を深める機会にも恵まれました。さらに、今回の訪問で最大のイベントであった映画祭では、レッドカーペットを歩くという貴重な体験をし、忘れられない思い出となりました。また、これまで両市の友好親善に貢献されてきた田口裕士岡山市議会議員が富川市名誉市民の称号を受章しました。



市長表敬



市長表敬記念品贈呈



市民訪問団市長表敬



議長の富川市名誉市民証授与式



歓迎夕食会の韓定食



サンドン湖水公園の岡山庭園にて



富川国際ファンタスティック映画祭開幕式



富川韓屋体験村での伝統小物作り

サンホセ市

●「私の世界、世界は一つ」写真展（1月16日～22日）

令和7年1月に、サンホセ市在住の写真家ソニア・レオン氏が、岡山市内の児童養護施設若松園でワークショップを行いました。そのワークショップで子どもたちが撮影した写真を展示する写真展を開催しました。オープニングセレモニーには、駐日コスタリカ共和国大使館ウィリアム・カルヴォ公使参事官兼総領事も駆けつけました。



オープニングセレモニー

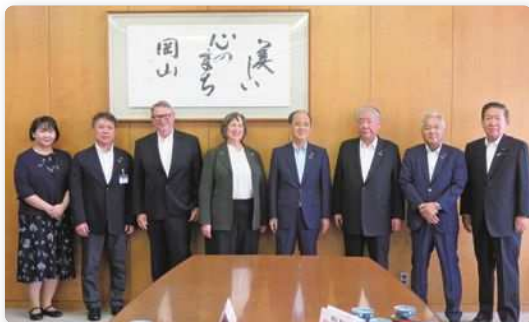


若松園の子どもたちとの交流

サンノゼ市

●パム・フォーリー副市長受入（9月12日）

大阪府泉佐野市で開催された日米姉妹都市サミットへの参加に合わせ、サンノゼ市副市長が、岡山市を訪問されました。訪問中、副市長は市長表敬訪問や4月にサンノゼ市を訪問した議員と意見交換をしました。夕食会では岡山市とサンノゼ市の交流に関わってきた関係者との交流を深められました。また、2027年に友好交流締結70周年を迎えることを見据え、記念事業に向けて両市間で共通認識を深める機会となりました。



市長表敬



歓迎夕食会

プロヴディフ市

●大阪・関西万博 ブルガリアナショナルデー（5月18日）

大阪・関西万博ブルガリアナショナルデーに併せて開催された、「ブルガリアナショナルデー式典とブルガリア文化プログラム」と、「ブルガリアバビリオンでのレセプション」に出席しました。レセプションでは、ルメン・ラデフブルガリア大統領と挨拶を交わしました。大統領は、岡山にフリスト・ボテフの石像があることもご存じでした。



ルメン・ラデフ大統領

●「日本とブルガリア 交流の歴史」 パネル展（6月6日～13日）

大阪・関西万博ブルガリアナショナルデー行事に参加するためにルメン・ラデフブルガリア大統領が来日されたことを契機として、日本とブルガリアの交流の歴史について紹介するパネル展を開催しました。開催に当たっては、駐日ブルガリア大使館と岡山プロヴディフ交流協会に協力いただきました。



オープニングセレモニー



子ども海外派遣事業



令和7年は岡山市の8つ全ての国際友好交流都市・地域へ中学生56名を派遣しました。子どもたちは派遣先でのホームステイと交流プログラム等を通じて国際的視野を広げ、多様な文化への理解の促進を図りました。

派遣前の2回の研修会では、現地で話す言語や文化を学ぶだけでなく、日本や岡山市の魅力を伝える出し物の練習をしました。派遣後には、体験したこと、学んだことを市長・教育長へ報告しました。サンホセ市へは26年ぶりの派遣となりました。



壮行会で決意表明



語学研修



報告会



報告会



報告会

サンノゼ市・ペンドルトン市

7月26日(土)～8月4日(月)
派遣人数…8名



ティピーの中で



みんなと外遊び



歴史を学ぶ

ペンドルトン市



お別れ

サンノゼ市



ウェルカムパーティーにて
うらじゃ披露



ケリーパーク公園にてランチ



日系人の歴史を学ぶ



ホストファミリーとのお別れ